

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	のぞみ発達支援室たかさご		
○保護者評価実施期間	2025年10月1日		～ 2025年11月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	48	(回答者数) 45
○従業者評価実施期間	2025年11月1日		～ 2025年11月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月6日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門家がアセスメントを実施し、発達に即した支援を行っている	共通のアセスメントを用いて、担当が変更しても継続性のある支援ができるようにしている	保護者評価で、専門性について「人による」という意見があったため、職員全体の支援力をより向上できるよう研修やケースカンファレンス等を実施する
2	発達に合わせた教材や課題を実施している	教材を施設の所有とし、個人の教材作成等の負担を減らすとともに、どの職員も自由に教材を選べるようにしている。	経験年数の浅い職員も施設にある教材について知ってもらえるよう紹介する機会等をもつ
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者懇談会等の交流の機会を設けているが「どちらともいえない」「わからない」の意見がみられたため、交流に関する保護者のニーズ等を把握する必要がある	療育日以外で保護者会等に出ることが負担という考えが多かったため、現在は、保護者が参加しやすいよう療育中に保護者懇談会を実施している。保護者によっては、より広い交流をのぞんでいる可能性について検討する必要がある	どのような交流の機会があったらよいか、保護者の意見を聞いてニーズに合わせて機会を設定する等工夫する
2	保護者への発信について「どちらともいえない」「わからない」の意見がみられたため、もっと知ってもらうための取り組みが必要である	活動などについてはInstagramやHPに、事業所の評価については、HP・施設内掲示板の両方に掲載しているが、保護者に関心を持ってもらえるようなPRが不足している可能性がある。	引き続き掲載した際には、療育の際にお知らせすると共に発信する内容についても検討していく
3			